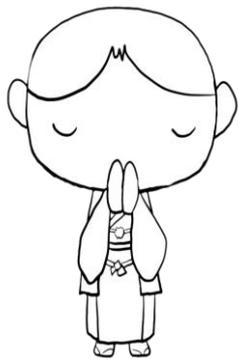


****尚、通年下記行事を実施しております。是非御参加下さい。****

◇婦人同朋会◇ 午後1時半より 9月20日 10月18日(11時おみがき)
10月25日(報恩講10時集合) 1月17日(互礼会) 3月14日



正信偈を中心としたお勤めからはじまる聞法会です。勤行稽古、座談会、食事会、永代経法要・報恩講への参加を御縁とした楽しい交流の場でもあります。新たなお仲間(新会員)歓迎いたします。皆様の御参加を会員一同お待ちしております。

また、寺院ホームページ内「婦人会会員へのお知らせ・伝達事項」のページにて随時お知らせを掲載しております。是非ご覧下さい。

寺院ホームページは「だいおうじ 千種区」で検索して下さい。『真宗大谷派(浄土真宗)寺院名古屋/大應寺(大応寺)だいおうじ名古屋市…』の見出しで一番目に検索されます。

◇永代経法要◇ 4月25日10時半開始

◇納骨者追弔会◇ 7月25日13時半

◇初盆合同法会◇ 8月13日11時予定

◇定例～お参りの日・同朋の集い～◇ 随時

《一口法話》～お参り～



一年の後半は8月お盆、9月秋彼岸そして年の暮れ、お墓やお寺にお参りいくことが多くなります。さて、皆様は何のためにお参りに行くのですか？

亡き人に会いに行く、先祖供養のため、あるいは亡くなった人が寂しがっているから、色々な理由が思い浮かびます。確かに先祖を敬い、供養のためにお参りに行くことは大切なことです。しかし、それだけで終わってしまっただけでは実にもったいことなのです。「お参りとはお参りに参りました(やって来た)と先祖に報告すること」だと言う人もいます。いかにも来てやったぞという感じですかね？お参りは行くことに意味があるのではなく、お参りに来て何を感じ何に気付かされたかということが大切なのです。

手を合わせるとき私たちはつい自分勝手な願い事をしてしまいがちです。実はお参りすることにより、大きな命の流れの中で今一瞬一瞬を生かされていることをいただき、今をしっかり生き抜く勇気と力をいただく。まさに命の尊さに目覚めよという願いに包まれ、感謝していくことにほかならないのです。

それでもまた願い事をしてしまう。いやダメだと気づき感謝する。しかしまた願い事をする。繰り返しです。でもそれでいいのです。大切なのは何度も繰り返してしまうダメな私に気付くということ。「お参り」とは、どうしようもない自分に参りましたお手上げですと気付かされることなのかもしれませんね。



参りましたと頭が下がった時、初めて自らを照らす光に気付くことができるのではありませんか。